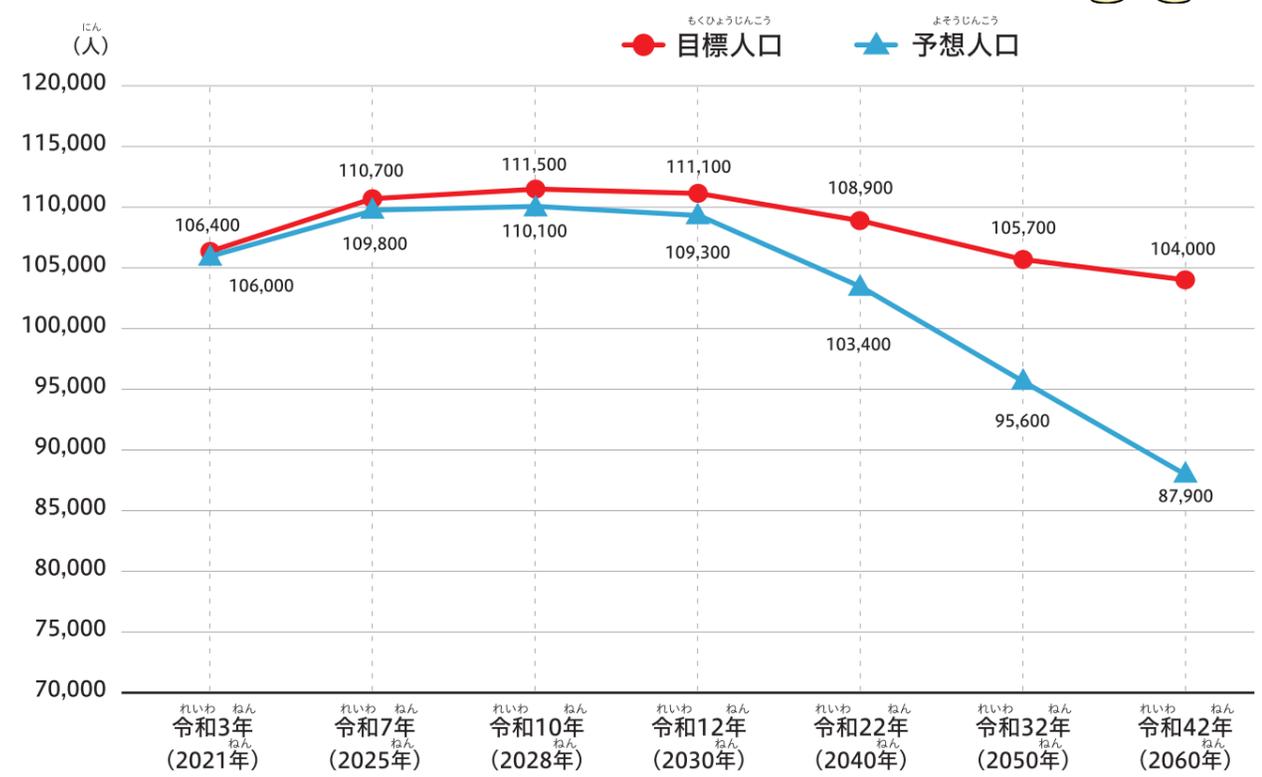


市の目指す目標人口

総合計画などの
取組で、人口減少が
ゆるやかになるね!



印西市の人口は、これからも少しずつ増え、令和10年に最も多くなってからは、少しずつ減っていき、「人口減少」が進んでいく見込みです。
人口減少が進むと、まちのにぎわいが減り、まちの元気が失われてしまいます。また、高齢者を手助けする人が少なくなり、みんなの負担が大きくなります。
このため、これからもまちが元気な姿でいられるよう、人口減少のスピードを抑え、令和42年(2060年)に現在とほぼ同じ人口である約10万人を育てよう、総合計画などの取組を進めていきます。



SDGsの取組について

印西市の取組も、
SDGsの達成のために
役立っているよ!



今、日本、そして世界では様々な問題が起きています

社会問題	少子高齢化、人手不足、食糧問題
環境問題	地球温暖化、災害増加、ごみ問題、生物多様性減少
経済問題	貧困、エネルギー不足、インフラの老朽化

これらの問題を解決し、ずっと安心して暮らしていける、持続可能な社会をつくるために、世界中でSDGsに取り組んでいます。

※ SDGsとは、持続可能な社会を実現するために、2030年までに達成すべき目標のこと

みんなも、世界の問題の解決のために、何ができるか考えてみよう!

印西市 INZAI CITY 総合計画 こども版

~いんざいの未来をみんなで作ろう~

印西市は、東京都心や成田国際空港に近く、会社などの働く場所や買い物に行くことが便利だけでなく、川や沼などの水辺や緑豊かな自然環境などたくさんのよいところがあります。
私たちは、みなさんが印西市を大好きになってもらうために、いんざいのよいところをもっと増やす取組を進めています。
みなさんもこの「印西市総合計画 こども版」を読んで、もっと住みよいまちにするためにはどうすればよいか、自分たちができることは何か、一緒に考えてみましょう。

総合計画って何だろう?

市民のみなさんが安心して幸せに暮らしていけるように、市がめざす将来のまちの姿をたくさんの人たちが意見を出し合って決め、それを実現させるために取り組む、市の最も大きな計画を総合計画といいます。
総合計画では、市民のみなさんの生活に密接に関係する、安全・安心、健康福祉、子育て、教育、都市基盤などのさまざまな分野についての取組をまとめています。
総合計画の期間は、令和3年度(2021年度)から令和12年度(2030年度)までの10年間としています。

印西市を
よりよくするために
計画を立てて
取り組んでいるよ!



いんざい君

どんなまちに
していくの？

政策1

誰もが安心して健康で 明るく暮らせるまちをつくりま

- 災害に強く、犯罪や事故がおきにくいまち
- 支えあい明るく暮らせるまち
- 健康で元気に暮らせるまち



市が目指す将来都市像

住みよさ実感都市 ずっと このまち いんざいで

将来都市像は市が目指す10年後のすがたです。

この将来都市像には、市民が安心して暮らし、いきいきと活動し、生活のさまざまな場面で、住みよさを実感できるまち、将来も住み続けたいと思えるまちを目指していくという思いがこめられています。

将来都市像を 実現するために 行うこと

将来都市像を実現するために行うことを大きな種類別にまとめたものを政策といいます。そして、それぞれの政策では、分野別にまちづくりの目標を定め、実現するための取組を進めていくこととしています。

政策2

子どもたちの未来を育み 誰もが心に豊かさをもたらす まちをつくりま

- 安心して子育てができるまち
- 子どもたちが楽しく安心して勉強できるまち
- 知りたい、やりたいことができるまち



政策5

市民と行政が力を合わせ 持続可能なまちをつくりま

- 地域活動やまちづくりを一緒に進めるまち
- 思いやりと自分らしさを大切にするまち
- 新しい技術などを活用した便利なまち



政策4

自然と都市が調和する 快適で人にやさしいまちをつくりま

- 道路や上下水道などが整い、快適な暮らしができるまち
- 電車やバスなどの交通機関で移動しやすいまち
- 恵まれた自然環境を守り、清潔できれいなまち



政策3

地理的優位性をいかした 活力あふれるまちをつくりま

- 農業、お店、会社など、働く人が元気になるまち
- 印西市を好きになり、ずっと住み続けたいと思うまち
- 多くの人を訪れ、交流し、にぎわうまち

